

す く す く 通 信 第1号

「おなかも！こころも！とちぎでいっぱいキャンペーン」に当選された皆様に、6月2日（土）に田植え体験をして頂きました栃木県那須烏山市（JAなす南）の「田んぼ」の様子をご紹介します！（田植え後33日目の様子です）



7月に入り関東では平年より22日早い梅雨明けとなり、稲の生育も順調に進んでいます！！

草丈は長く、茎数は平年より少ない状況となっております。

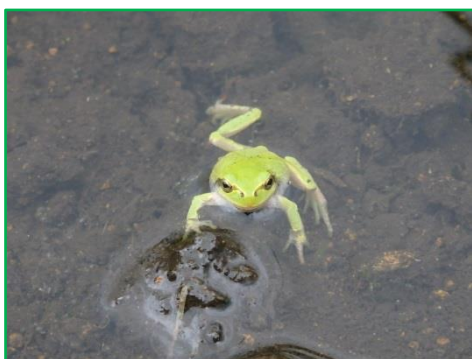
栃木でも暑い日が続いており、稲も平年より前倒しで生長しております。



ここで田植え後に田んぼの水管理をどのように行っているのかをご紹介します！

田植え以降は田んぼに水が張られておりますが、およそ出穂する1か月前に「中干し」という7日～10日間田んぼの水を全て抜く作業をします。

中干し後は「間断かん水」といって、田んぼに水を張り、水がなくなったら、再び水を張るといった作業を行います。



適切な水管理をすることが強い稲を作るのにとっても重要な要素です！

そのため、農家さんは美味しいお米を作るために田んぼの水管理に細心の注意を払っています。

栃木県では梅雨明けし暑い日が続いており、平年より早く出穂すると言われております。

次回は「出穂ってなに？」についてご紹介します。